



2021年1月10日 (第199号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.jp
広報:tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成:yousei@takamatsu.catholic.jp
WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

# カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉

私にできてあなたにはできないこともあり、あなたにできて私にはできないこともあり、だから、ともに力を合わせれば、素晴らしいことができるのです。

## コロナの中「新しい生き方」

すべての命を大切にすること・分かち合う愛

使徒ヨハネ 諏訪榮治郎

新年あけましておめでとうございます。

世界規模のコロナウイルス感染拡大の恐怖の中、教皇フランシスコは平和のシンボルである聖なるアシジのフランシスコの墓前でメッセージ『みな兄弟』を出されました(現在翻訳中)。

「主の祈り」の各節ごとにはイエスの祈念されている御父の願いがあります(この内容は次年度の司教書簡として著したいと思っております)。

いま、神学生時代に学んだ『現象としての人間』(テイヤール・シャルダン)を思い出します。それは人類の進化に関する壮大な仮説です。人間は意思と知性を持つことによって、物質圏を超えはげしく精神圏へと進化し、その究極である「オメガ点」へと向かう、というものです。

「コロナウイルスにさらされ、または「新しい生き方」を見出すのか、岐路に立たされているように思います。ここにおいて私たちキリ

スト者は「待つ人」であることを確認したいと思えます。この世界が、「力の論理」で平和の均衡を保とうとするとき、「すべての命を大切に

主が私たちに与えられた「主の祈り」の各節ごとにはイエスの祈念されている御父の願いがあります(この内容は次年度の司教書簡として著したいと思っております)。

## 東日本大震災 被災救援活動の終了

南相馬・大船渡・南三陸の各ベースは活動継続

忘れもしない2011年3月11日(金) 14時46分、東北地方一帯を襲った三陸沖地震、それはマグニチュード9.0の観測史上最大規模でした。地震に伴う津波、余震は東北から関東にかけて2万人以上の犠牲者を出す最悪の被害をもたらしました。また福島原子力発電所の事故は最も深刻なレベル7であり、現在も復旧の目途も立っていません。その地域で生きることができない危険性ははらんで今もその状況は続いておられます。



大船渡にて



南三陸にて

当初から支援活動は10年をもって終了する、(カリタスジャパンの救援活動費がなくなると)とありました。いくつもの支援ベースは10年をもって閉じることになりました。しかし、閉じることのできない「南相馬ベース」(東京教区支援)は、NPO法人として福島原発地域に生きる方々の支援活動を続けました。また「大阪教区」が立ちあげた「大船渡ベース」は地域の人々になくてはならない「生活の場」(地域住民の助け合い、

3月11日(金) 14時46分、東北地方一帯を襲った三陸沖地震、それはマグニチュード9.0の観測史上最大規模でした。地震に伴う津波、余震は東北から関東にかけて2万人以上の犠牲者を出す最悪の被害をもたらしました。また福島原子力発電所の事故は最も深刻なレベル7であり、現在も復旧の目途も立っていません。その地域で生きることができない危険性ははらんで今もその状況は続いておられます。

当初から支援活動は10年をもって終了する、(カリタスジャパンの救援活動費がなくなると)とありました。いくつもの支援ベースは10年をもって閉じることになりました。しかし、閉じることのできない「南相馬ベース」(東京教区支援)は、NPO法人として福島原発地域に生きる方々の支援活動を続けました。また「大阪教区」が立ちあげた「大船渡ベース」は地域の人々になくてはならない「生活の場」(地域住民の助け合い、

これまでのみなさまのご支援、心より御礼申し上げます。まことにありがとうございます。コロナの感染予防に注意を払いながらも、今後ともボランティア、被災地訪問など、どうぞおでかけください。

「世界広報の日」の教皇メッセージでは、繰り返しインターネットの利用が勧められている。2002年には教皇ヨハネ・パウロ2世が「インターネットは、適切に、そしてその力と弱点を正しく意識して使えば、福音宣教にとって素晴らしい機会を与えてくれるものです。しかし同時に、電子的に築かれた関係が、真の福音宣教に必要な人間同士の直接の接触に決して取って代わることはできないこともまた真実です。」として、その特性に留意しつつ宣教に活用すべきであることを述べられている。

「世界広報の日」の教皇メッセージでは、繰り返しインターネットの利用が勧められている。2002年には教皇ヨハネ・パウロ2世が「インターネットは、適切に、そしてその力と弱点を正しく意識して使えば、福音宣教にとって素晴らしい機会を与えてくれるものです。しかし同時に、電子的に築かれた関係が、真の福音宣教に必要な人間同士の直接の接触に決して取って代わることはできないこともまた真実です。」として、その特性に留意しつつ宣教に活用すべきであることを述べられている。

「世界広報の日」の教皇メッセージでは、繰り返しインターネットの利用が勧められている。2002年には教皇ヨハネ・パウロ2世が「インターネットは、適切に、そしてその力と弱点を正しく意識して使えば、福音宣教にとって素晴らしい機会を与えてくれるものです。しかし同時に、電子的に築かれた関係が、真の福音宣教に必要な人間同士の直接の接触に決して取って代わることはできないこともまた真実です。」として、その特性に留意しつつ宣教に活用すべきであることを述べられている。

「世界広報の日」の教皇メッセージでは、繰り返しインターネットの利用が勧められている。2002年には教皇ヨハネ・パウロ2世が「インターネットは、適切に、そしてその力と弱点を正しく意識して使えば、福音宣教にとって素晴らしい機会を与えてくれるものです。しかし同時に、電子的に築かれた関係が、真の福音宣教に必要な人間同士の直接の接触に決して取って代わることはできないこともまた真実です。」として、その特性に留意しつつ宣教に活用すべきであることを述べられている。

「世界広報の日」の教皇メッセージでは、繰り返しインターネットの利用が勧められている。2002年には教皇ヨハネ・パウロ2世が「インターネットは、適切に、そしてその力と弱点を正しく意識して使えば、福音宣教にとって素晴らしい機会を与えてくれるものです。しかし同時に、電子的に築かれた関係が、真の福音宣教に必要な人間同士の直接の接触に決して取って代わることはできないこともまた真実です。」として、その特性に留意しつつ宣教に活用すべきであることを述べられている。

「世界広報の日」の教皇メッセージでは、繰り返しインターネットの利用が勧められている。2002年には教皇ヨハネ・パウロ2世が「インターネットは、適切に、そしてその力と弱点を正しく意識して使えば、福音宣教にとって素晴らしい機会を与えてくれるものです。しかし同時に、電子的に築かれた関係が、真の福音宣教に必要な人間同士の直接の接触に決して取って代わることはできないこともまた真実です。」として、その特性に留意しつつ宣教に活用すべきであることを述べられている。

## パウロ浜口末男司教 帰天



大分教区のパウロ浜口末男司教が12月28日に帰天されました。72歳、悪性黒色腫により入院治療中でした。浜口司教は、2005年3月、長崎教区から高松教区事務局長(小豆島教

主任司教兼任)として四国に赴任され、2007年3月から2011年4月の間は桜町教会の担当司教を務められました。温かい人柄で誰からも慕われ、いつもそばにいた家族のような方でした。感謝のうちに永遠の安息をお祈りいたします。

1948年8月1日 長崎県生まれ
1975年3月19日 司教叙階
2011年3月25日 大分教区司教に任命される
2011年6月26日 司教叙階

はばたき

ツイッター、ユーチューブ、フェイスブック... いろいろな団体がインターネットを使っていて、これは情報発信に欠かせない手段となっているし、いつでもどこでも欲しい情報を受け取れるとても便利な仕組みである。

カトリックでも、教皇フランシスコのSNSやパチカンのニュース配信をはじめ、あちこちの教会・修道会・個人が、ミサ動画や説教を発信するなど、インターネットが日常的に使われている。

「世界広報の日」の教皇メッセージでは、繰り返しインターネットの利用が勧められている。2002年には教皇ヨハネ・パウロ2世が「インターネットは、適切に、そしてその力と弱点を正しく意識して使えば、福音宣教にとって素晴らしい機会を与えてくれるものです。しかし同時に、電子的に築かれた関係が、真の福音宣教に必要な人間同士の直接の接触に決して取って代わることはできないこともまた真実です。」として、その特性に留意しつつ宣教に活用すべきであることを述べられている。

「世界広報の日」の教皇メッセージでは、繰り返しインターネットの利用が勧められている。2002年には教皇ヨハネ・パウロ2世が「インターネットは、適切に、そしてその力と弱点を正しく意識して使えば、福音宣教にとって素晴らしい機会を与えてくれるものです。しかし同時に、電子的に築かれた関係が、真の福音宣教に必要な人間同士の直接の接触に決して取って代わることはできないこともまた真実です。」として、その特性に留意しつつ宣教に活用すべきであることを述べられている。

「世界広報の日」の教皇メッセージでは、繰り返しインターネットの利用が勧められている。2002年には教皇ヨハネ・パウロ2世が「インターネットは、適切に、そしてその力と弱点を正しく意識して使えば、福音宣教にとって素晴らしい機会を与えてくれるものです。しかし同時に、電子的に築かれた関係が、真の福音宣教に必要な人間同士の直接の接触に決して取って代わることはできないこともまた真実です。」として、その特性に留意しつつ宣教に活用すべきであることを述べられている。



# 地区・ブロックの話題

## 西讃ブロック

### 丸亀教会・普通寺教会の広報誌

丸亀教会 太田脩  
現在スペインに帰国されたパスカル神父様が、着任し信徒のみんなと交わる方法を模索されていた時、教会内で新聞を発行しようという事になり、神父様におまかせで一応平成30年1月にスタートをしました。

第1号が刷り上がった時、驚いたのはタイトルが『さぬき富士』だったこと。普通寺教会と両方廻られていたので、2つの教会が仲良くとの意味もあり、中讃地方のシンボルである飯野山をデザインされ、神父様が

が如何に皆と1つになろうとしているか気持ちが伝わってきました。わずか4頁の限られたスペースの中に教会の行事の事、その月の典礼の事、聖書の言葉の一節等、最初はシンプルでありましたが、段々と中身が濃くなり、次回の発刊が待ち遠しく感じられるようになりました。

今は、後任の高山神父様にバトンタッチで、なお、一層内容が充実した月刊誌に変身しつつあります。

最近では、信徒内から原稿の投稿もあり、みんなが楽しみに読んで、次回が待ち遠しい位フィーバーしています。毎日多忙な高山神父様には申し訳ありませんが、今後とも教会内がホットで明るい雰囲気になれる様な月刊誌でありたいと期待しています。



## さぬき富士

一思い起し、待ち望む

丸亀カトリック教会

2020年 12月 32号

普通寺カトリック教会

### ◇教区スケジュール◇

- 1月
  - 1日 (金) 神の母聖マリア
  - 3日 (日) 主の公現
  - 10日 (日) 主の洗礼
  - 11日 (月) 成人の日
  - 12日 (火) 高松教区司祭・助祭・修道者の集い (Zoomにて)
  - 17日 (日) 年間第2主日
  - 18日 (月) キリスト教一致祈禱週間 (25日まで)
  - 19日 (火) 司祭評議会Zoom会議 (10:00~12:00)
  - 24日 (日) 年間第3主日 (神のことばの主日)
  - 25日 (月) 聖パウロの回心
  - 31日 (日) 年間第4主日 世界こども助け合いの日
- 2月
  - 2日 (火) 主の奉献
  - 3日 (水) 福者ユスト高山右近殉教者
  - 5日 (金) 日本26聖人殉教者
  - 7日 (日) 年間第5主日
  - 11日 (木) ルルドの聖母 世界病者の日
  - 14日 (日) 年間第6主日
  - 17日 (水) 灰の水曜日 (大斎・小斎)
  - 21日 (日) 四旬節第1主日
  - 22日 (月) 聖ペトロの使徒座
  - 23日 (火) 天皇誕生日

## 愛媛地区

### 学校法人ロザリオ学園八幡浜聖母幼稚園

#### 園児の「宗教」の時間

愛媛地区南予ブロック八幡浜教会では、既報教区報196号にて、2020年5月30日に完成した八幡浜小教区聖堂の建設をお知らせした。この聖堂建設は、隣接する八幡浜聖母幼稚園(〒796-0037愛媛県八幡浜市昭和通り1182-17)の耐震構造の問題により再建されることに関連して、聖堂がとり壊されることに伴うものであった。

聖堂は幼稚園の建設を先行的に完成した。



完成した八幡浜聖母幼稚園

様、新聖堂での宗教の時間が実施されている。

八幡浜聖母幼稚園は、2019年9月から工事が始まり、2020年3月下旬に完成し、卒園式から新園舎が使用された。幼稚園の毎月の行事の中には、チャレンによる「宗教」の時間が盛り込まれている。八幡浜聖母幼稚園は、5月末の聖堂完成の後、これまでの旧聖堂での宗教の時間同様、新聖堂での宗教の時間が実施されている。

八幡浜聖母幼稚園のホームページには、2020年7月にチャレンである学校法人ロザリオ学園ゴンザロ・ベルモンテ・ファン・マヌエル理事長(ドミニコ修道会)が、年長園児とともに小さな新聖堂に初めて入った様子が報告されている。聖堂には、旧聖堂から引き継いだ1950年聖堂創建時の十字架がそのまま納められており、園児らはリアルなキリスト像をみて、「苦しうやな」「何わるいことしたん？」などの疑問を投げかけ、ファン神父はこれにやさしく応えられた。

このような宗教の時間は、7月から夏休みを除き毎月行われている。12月7日に



(八幡浜聖母幼稚園ホームページから再掲)  
上左: 神様のお話をするファン理事長  
上右: 聖堂の椅子に座る年長の園児達  
下: 12月7日の宗教の時間

は、待降節を学ぶ園児達が聖堂での特別な時間を過ごしたことが報告されている。

八幡浜教会の主日ミサは通常信者8名、ベトナム研修生7名の約15名であり、大きな活動は難しいが、聖母幼稚園のホームページを通して、聖堂訪問の様子が市民に公開され、園ともに地域の宣教を担う姿がうかがわれる。

### 「オアシス」誕生

「オアシス」奉仕者 長井道子

松山教会の入口に不思議なカフェが誕生しました。正しくは営業ではないので「カフェではなく「オープンスペースオアシス」、より開かれた宣教の場です。

信者はもちろん道行く人、子どもの頃に日曜学校に通った事のある人、ロザリオ幼稚園、カタリナ、愛光学園の卒業生達がふと教会の前を通り、なんか懐かしいなあと思ってしまうようになって来れる場。教会に縁はなかったけどどんな所かな？勝手に入ったら怒られるかなと思っていた人が入り易い場を提供できたらしいな。優しそうなお姉さん(?)が楽しそうにおしゃべりして



ではないでしょうか。書院を続けてきてくれた方々の長年の努力を無にする事なく、その精神を「オアシス」という形で引き継ぎ、その温かさ、きめ細やかさを続けていけるよう、これからも広く意見を聞きつつ、目指すスペースになるよう日々努力していくつもりです。

松山にいられた折には、是非お立ち寄りください。定休日は原則月曜日、教会行事がある場合を除き、朝10時から夕方4時まで開けております。



10月にオープンした当初はやはり信者さんの利用が中心でしたが、平日には「気になっていたので入りたいですか」とオフィス街の女性グループが来たり、亡くなった母が教会に来ていたので、里帰りしたら書院が代わっているのぞいてくれたりと、少しずつ教会に入った事のない人も訪ねてくれるようになってきました。神父様も時間のある時は居てくださいるので、お手伝いの私達とも交流ができ、聖書の事も気軽に伺う事ができるのもメリットかもしれません。

もちろん何の問題もなくすべて順調という訳ではありません。金銭面でも心配はあります。でも自分達のできる事を一生懸命し、それが神様の御心にならうならきつと前が見えてくるの

### 教区広報から

教区広報委員会では、教区報・インターネットで教区内小教区の情報を幅広くお伝えしていきたいので、皆様からの情報提供をお待ちしています。小教区の広報誌・新聞などに掲載された記事も歓迎です。各地区の広報委員を通して教区広報にニュースをお寄せください。

